



# The Kiyota Global Times

市立札幌清田高等学校 グローバルコース通信 第4号 July 2021

## いずれやってくるであろう

### 「卒業研究発表会」にむけて

グローバルコース長

紀伊國 薫

今年もグローバルコースの3年生は、3年間の集大成として、卒業研究発表会がやってきます。今年度は夏休み明けの8月25日(水)を予定しています。自分が関心を持つ国際問題について、英語で発表をしてもらおうというこのイベントは、英語で発表するというだけでもたいへんですが、それ以前に自分の言葉で自分の意見を持たなくてはなりません。昨年も同じことを言いましたが、そこで何かを語る素材として、単なる自分の意見だけでなく、その意見の根拠(evidence)を様々な人が書いている本に求めてほしいと思っています。

できることなら卒業研究発表までに最低でも10冊くらいはその問題についての関連本を読んでもほしいところです。逆算すると、1年生なら1年間に5冊、2~3ヶ月に1冊くらいが目標です。また、どんな本を読んだらいいかわからないという人のために、今年度もグローバルコース委員会の先生方に「おすすめの一冊」をあげてもらいました(裏面にあります)。せっかくの長期休業ですので、この期間に興味があるものを手に取ってみてください。

## 夏休みにやってほしいこと。積極的な進路の情報収集を!

夏休みはオープンキャンパスや大学の募集要項が出そろった時期です。最近はオンラインでのオープンキャンなども行われています。どの学年・年次の生徒も早い時期から情報収集に努めてください。

以下は東日本で国際関係学部学科のある国公立大学、総合型選抜を実施している主な大学です。ぜひ参考にしてみてください。

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 小樽商科大学 商学部 グローバルコース          | 弘前大学 人文社会科学部 文化創成課程    |
| 山形大学 人文社会科学部 グローバル・スタディーズコース |                        |
| 千葉大学 国際教養学部                  | お茶の水女子大学 新フンボルト入試      |
| 国際教養大学 国際教養学部                | 群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部 |
| 横浜市立大学 国際教養学部                | 都留文科大学 文学部 国際教育学科      |
| 長野県立大学 グローバルマネジメント学部         | 新潟県立大学 国際地域学部          |

## 1年次『国際理解基礎(集中講義)』が始まります!

7月に入り、1年次の『国際理解基礎(集中講義)』がいよいよ始まります。集中講義とは、夏休みや冬休みなどの休業期間を利用して、学校の中では学べない世界の事柄について学ぶ「授業」で、成績もつきます。今年度はグローバルコース40名と普通コースの希望者3名が参加します。

コロナ禍でなかなか海外との繋がりを持つことが難しい昨今ですが、校外に出て異国の雰囲気少しでも感じられたらと思います。暑い中ですが、楽しみながら勉強していきましょう!

1. 「JICA 訪問」 場所: JICA 北海道(札幌)(白石区本通16丁目南4-25)  
日時: 7月13日(火) 1~3組 13:30~15:00 4~6組 15:00~16:30
2. 「SDGs 入門」 場所: 本校 地理教室  
日時: ① 7月25日(日) 13:30~15:00 JICA 訪問振り返りなど  
② 7月26日(月) 13:30~15:00 SDGs 講演会
3. 「領事館訪問」  
① 韓国領事館訪問 場所: 駐札幌大韓民国総領事館(中央区北2条西12丁目1-4)  
日時: 4~6組 27日(火) 午後 1~3組 28日(水) 午前  
② アメリカ領事館訪問(Zoom) 場所: 本校 1年次教室  
日時: 8月19日(木) 16:00~16:35  
※中国領事館が未定のため、現時点での予定となります。

## 『葉書、もらってもイイですか?』プロジェクトが ダルニー奨学金のホームページに取り上げられました!

昨年、2年8組(現3年8組)の国際協力に取り組んだ書き損じはがき回収のプロジェクトが、その支援先であるダルニー奨学金のホームページで取り上げられました。

現2年6組も学校祭でのフェアトレードショップができなくなったため、また新たなプロジェクトを考えなくてははいけませんね。今年は何ができるのか、楽しみにしています!

支援をあきらめない! 市立札幌清田高校の挑戦 <https://www.minsai.org/news/kiyotahs/>

# グローバルコース委員会の先生が選ぶ 「おすすめの一冊」

## 紀伊國 薫 先生（グローバルコース長 地理歴史）推薦本

『ハーバード日本史教室』 佐藤 智恵 著 中公文庫ラクレ 902 円

「日本の歴史の転換点である、1600 年、1868 年、1945 年の中で、どの年が最も重要だと考えるか。日本の政治、社会、文化の変革に与えた影響という観点からその理由を述べよ。」ハーバード大学での日本史の期末試験で実際に出された問題だそうです。歴史とは本来、覚えるためのものではなく、過去の出来事を踏まえ、未来をよりよくするためのもの。日本に関して日本人よりも深く議論されていることに新鮮さと驚きを感じます。

## 菅原桂子先生（グローバル副コース長 英語）推薦本

『The Very Hungry Caterpillar（はらぺこあおむし）』 Eric Carle 著 Philomel Books 1,406 円

5 月 23 日に 91 歳で亡くなった絵本作家エリック・カールさんの代表作です。1969 年に出版された初版には Printed in Japan と書かれています。穴あきの仕掛けや、ページの幅がさまざまなこの本を印刷・製本してくれる会社がアメリカではみつからず、日本の偕成社が引き受けたそうです。全世界で累計 5,500 万部を出版する大ベストセラー。子どもの頃に読んだ人も多いと思いますが、今度は英語で読んでみてください。

## 鉢呂彰敏先生（3年8組担任 美術）推薦本

『「考える技術」と「地頭力」がいきなり身につく 東大思考』 西岡 壱誠 著 東洋経済新報社 1,485 円

「頭がいい」「悪い」を分けるのは、才能ではなく「思考回路」だ。偏差値 3 5 の作者が東大に合格できたのは真似をしたから。自己啓発本ですが、面白いです。「英語を話せるようになりたいのなら、外国人の恋人をつくればいい」という説についてどう思いますか？この答えが知りたければ読んでみてください。Kindle 版でも出ています。

## 堀 貴博先生（3年8組副担任 保健体育）推薦本

『Rugby magazine』 ラグビーマガジン編集部

最新の国内ラグビーの情報及び試合レポートはもちろん、選手に対するインタビュー、海外情報も充実していて、ラグビーファンに支持されている一冊です。ラグビーを愛する人のための情報が満載で、この一冊だけでラグビーの魅力の全てがわかり、ラグビー経験がなくても楽しめる本になっています。この本を読んでラグビーに興味をもった人はぜひ一度ラグビー部に遊びに来てはいかがでしょうか。

## 立田和久先生（2年6組担任 地理歴史）推薦本

『若い読者のための第三のチンパンジー』 ジャレド・ダイヤモンド 著 草思社 935 円

文化人類学者のダイヤモンド博士が、チンパンジーと遺伝的にとても酷似している人間が「人間であらしめるもの」についてわかりやすく説明してくれます。「なぜ人間の肌の色は世界各地で異なるのか」、「なぜ人間は男女で身長差があるのか」、「なぜ人間は不健康な酒やたばこに手を出すのか」など（これらはほんの一例です）を、歴史的・文化人類学的に解き明かしてくれます。人間社会の見方に幅が広がる一冊です！

## 細木健太先生（2年6組副担任 英語）推薦本

『スラムダンク勝利学』 辻 秀一 著 集英社インターナショナル 1,100 円

私のバイブルです。私の軸がぶれそうなときに読んで、ぶれないようにする本です。スポーツで勝つために書かれた本ですが、日常のものすごくコアな部分に応用できます。今この瞬間に生きる、というのが一番心に残っています。デュースやタイブレークでのサーブ、PK やフリースローで手や足が震えたことはありませんか？未来や過去に思考を巡らせて、今その瞬間に実力を発揮できないという経験があるのではないのでしょうか。この本によれば、今この瞬間に「すべきこと」をすることを習慣を作ればいいのです。

## 清水 純先生（1年4組担任 英語）推薦本

『What I Talk About When I Talk About Running: A Memoir（走ることについて語るときに僕の語ること）』

Haruki Murakami（村上 春樹）著 Vintage 969 円

「走ること」と自身の小説執筆を関連づけて書いてあるエッセイ。まずは日本語で内容を頭に入れてから英語で読んでみることをオススメします。英語版も 200 ページ弱でそんなに難しい英単語も使われていないので読みやすいと思います。この本を読んで、自分もマラソンを始めるきっかけになりました。また何歳になっても、どんな職業についても何か 1 つのゴールに向かって努力し続けることの大切さを気づかせてくれる 1 冊です。

## 伊藤史也先生（1年6組担任 理科）推薦本

『The Boy, the Mole, the Fox and the Horse（ぼく モグラ キツネ 馬）』

Charlie Mackesy 著 HarperOne 2,575 円

「ぼく」がモグラやキツネやウマと出会い、彼らとの対話で進行していきます。その中で、「ぼく」は様々な疑問や葛藤を投げかけます。「自分」や「愛」について考える一冊です。文字より絵が多いので 1 0 分程度で読み終えることができます。是非図書室で探してみてください。

## 川口浩史先生（教務副部長 数学）推薦本

『人類の未来—AI、経済、民主主義』 NHK 出版新書 1,034 円

4 年前の著書ですが、今読むから納得できたりすることもあります。当時は、不確実な時代を見通すための確たるビジョン！ベストセラー『知の逆転』の続編として紹介されていました。

トランプ政権と民主主義のゆくえは？ EU の将来は？ 世界経済は今後どう変わるのか？ シンギュラリティとはそもそも何か？ 国際情勢、AI と人間、気候問題、都市とライフスタイルの未来像……。データとファクト重視、冷徹な現状分析を旨とする大御所たちに、「都市を変えるアイディア」を実践している若き知性を加えた計 5 人にズバリ斬り込み、知りたいことに明確なビジョンを示す一冊です。